

子どもにも がんが あります



公益財団法人 **がんの子どもを守る会**
Children's Cancer Association of Japan

がんの子どもを守る会とは

1968年に小児がんで子どもを亡くした親たちによって設立され、小児がんが治るような病気になってほしい、また小児がんの患児・家族を支援しようという趣旨のもと活動しています。

子どもにもがんがあります

日本では年間約2,000人の子どもが新たに小児がんと診断されています。当会が設立された1968年当時は、不治の病とされてきましたが、現在は病気によっては7~8割が治療を終えることができると言われています。しかし、今でも年間500人の命が失われ、子どもの死亡原因の上位を占めています。



小児がんは、子どもの人口およそ10,000人に1人に発生するまれな病気です。

子どものがんの特徴

	子ども	おとな
病理学的には	「肉腫(非上皮性悪性腫瘍)」がほとんど	「癌(上皮性悪性腫瘍)」がほとんど
診断時の全身への広がり	はじめに全身の80%程度に細かい転移がある場合が多い	進行性の場合で20%ほど
主な原因	様々な研究が進められているが、ほとんどの疾患で原因は特定されていない	環境・生活習慣・加齢が大きく関係していると考えられています
がんの発生する場所	体の深いところ(筋肉・骨・神経・血液)	皮膚の表層・粘膜
種類(多いものから)	白血病、悪性リンパ腫、脳腫瘍、神経芽腫、骨髄瘤	胃がん、大腸がん、肺がん、前立腺がん、乳がん、肝臓がん

出典 国立がん研究センターがん対策情報センター 10Pより

治療

小児がんは外科的治療、放射線療法、それに化学療法を加えた集学的治療を行います。小児がんは発見が難しいのですが、成人のがんに比べて化学療法や放射線療法に対する効果が極めて高いのも特徴です。

近年、新しい医療の進歩によって、小児がんの約70%は治療が見込めるようになってきたといわれています。しかしながら、年代別の子どもの死亡原因を見ると、「がん」は常に上位を占めています。

	1位	2位	3位
1歳～4歳	先天奇形など	不慮の事故	悪性新生物
5歳～9歳	不慮の事故	悪性新生物	先天奇形など
10歳～14歳	悪性新生物	不慮の事故	自殺
15歳～19歳	自殺	不慮の事故	悪性新生物

厚生労働省 人口動態統計(2012年)

小児がんの子どもと家族が抱える悩みや負担

子どものがんは、子どものからだところが成長していく過程に起こることから、子ども自身はもちろんその家族の生活にも大きく影響し、ここにおけるもののほかに、様々な悩みや負担があります。

治療後の問題

薬や放射線、手術などの治療や病気そのものの影響が徐々に残ったり、時には治療後にも影響が出てくる場合があります。また、治療中のつらい体験や記憶が心の傷となってしまうこともあり、身体的なことだけでなく、精神的なこともあります。

長期にわたる療養

小児がんの治療には、半年から1年以上の長い入院・通院生活は避けられず、子どもだけではなく、家族にも身体的・精神的な負担があります。特に入院中は子どもの社会生活が大きく制限されるため、遊び・学習・友だちとの関わり等の機会をどのようにもつかという事も大切です。



周囲の理解

小児がんと診断されたから、また治療後にも進学や就職・結婚など、生活の場が変化して新しい人と出会うたび、友だちや学校の先生、職場の上司や同僚、周囲の人などに病気についての説明が必要になることもあります。入院や通院すること、学校や仕事を休むこと、あるいは治療の影響による外見の変化や、生活行動の制限といった自分の状態について、どう説明するか、本人や家族が悩むこともあります。

経済的負担

小児がんの医療費は一部を除き公費負担になっていますが、治療期間が長期にわたるため、保護者の付添いによる二重生活やきょうだい児の保育などによる経済的負担も生じてきます。

column

ラジオ体操



4歳上のお兄ちゃんのことは何でもやりたがり、小さな頃から夏休みのラジオ体操を一緒にしていました。これは6ヶ月の化学療法を終えた8月、久しぶりに家族そろってラジオ体操をした時の絵です。薬と放射線で髪の毛はありませんでしたが、「まあ君のかみのけ、かいてもいいかな」とつぶやき、自分の絵にせつと髪の毛を塗っていました。いつも明るく振る舞っていましたが、やはり寂しいでしたね。誰かとの思い出は、これからも家族の宝物です。

絵をかけた年齢5才3か月
急性リンパ性白血病 坂早真

**CCA J**公益財団法人 **がんの子どもを守る会**

Children's Cancer Association of Japan

小児がん患者・家族を支える活動

相談

専門のソーシャルワーカーが小児がんに関する相談に応じるほか、わかりやすい資料なども作成しています。

治療研究促進のための助成

小児がんを治る病気にするための治療技術や、トータルサポートに関する研究に対して助成を行っています。

療養費の援助

長期の治療にかかる家族の経済的負担軽減のため、療養費の援助を行っています。

宿泊施設の運営

遠隔地から専門病院へ通う患者・家族のために宿泊施設の運営を行っています。

ピアサポート

同じ経験を持つ患者・家族同士の支え合いをピアサポートといいます。当会では各地域で支部が組織され、地元の医師等と協力連携し、交流会、講演会などを開催しています。

お子さんを亡くされたご家族のために

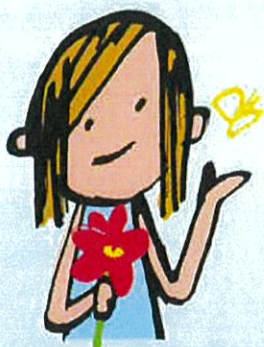
小児がんでお子さんを亡くされた家族のために、個別相談のほか交流会などを開催しています。

小児がん親の会への支援

各地にある病院・疾患別の親の会の運営にあたっての相談、資金援助を行っています。また、親の会同士の連携を深めるため、親の会連絡会を開催しています。

小児がん経験者への支援

小児がん経験者から寄せられる相談に応じ、自立のお手伝いをしています。経験や悩みを分かち合い、情報交換などを行う小児がん経験者の会の運営などもサポートしています。また、小児がんを経験した高校生へ奨学金の給付を行っています。



ご支援のお願い

当会の活動は皆さまからの寄付金を主な財源としています。お預かりしたご寄付は当会の様々な活動に活用させていただきます。また、会員として定期的にご支援をいただける方も募集しています。(どなたでも入会できます) 寄付・入会の方法についてはWEBサイトをご覧ください。

当会への寄付は税制上の優遇措置が受けられます。

お問い合わせ

公益財団法人 がんの子どもを守る会

本部 〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-3-12

電話03-5825-6311 FAX03-5825-6316

大阪 〒541-0057 大阪府大阪市中央区北久宝寺町2-3-1 電話06-6263-1333 FAX06-6263-2229

さらに詳しい内容についてはホームページでもご紹介しています。

がんの子どもを守る会

検索

URL <http://www.ccaj-found.or.jp> ✉ nozomi@ccaj-found.or.jp

病気や療養生活のご相談を、お受けしております。(平日10:00~16:00)

相談専用電話 **03-5825-6312**

INTERNATIONAL CHILDHOOD CANCER DAY

2.15 国際小児がんデー



ゴールドリボンとは、小児がんの理解と支援を呼びかける世界共通のシンボルマークです。

2月15日は国際小児がんデーです。

世界中で小児がんの子どもたちのための支援を呼びかける活動が展開されています。

子どもにもがんがあります。

ご存じですか？ 小児がんのこと

- 日本では、年間約2,000人の子どもたちが新たに小児がんと診断されています。
- 種類によっては7～8割が治療を終えられますが、一方で子どもの病死原因の第1位であり、年間約500人の尊い命が失われています。
- 大人のがんと異なり、子どもに発生するがんは希少で、生活習慣に起因するものではありません。
- 長期の療養が必要となり、学校や家庭など生活面に様々な影響があります。
- 治療を終えた後も、心身に課題を抱え、自立や就労に困難を伴う場合があります。



CCAJ

公益財団法人 がんの子どもを守る会

Children's Cancer Association of Japan

公益財団法人がんの子どもを守る会は、1968年の創立以来、小児がん患者・家族の会として、がんの子どもと家族を支える活動を続けています。

2017.2.15 国際小児がんデーキャンペーン

チャリティ



ゴールドリボン
チョコレート

500円以上の募金(寄付)をいただいた方へ、
ゴールドリボンをあしらったオリジナルチョコ
レート(1箱6個入り)を差し上げます。

*限定数でのご用意となります。

その他、ゴールドリボンのストラップやピンバッジ
のご用意もありますので併せてご活用ください。



ゴールドリボンバッジ

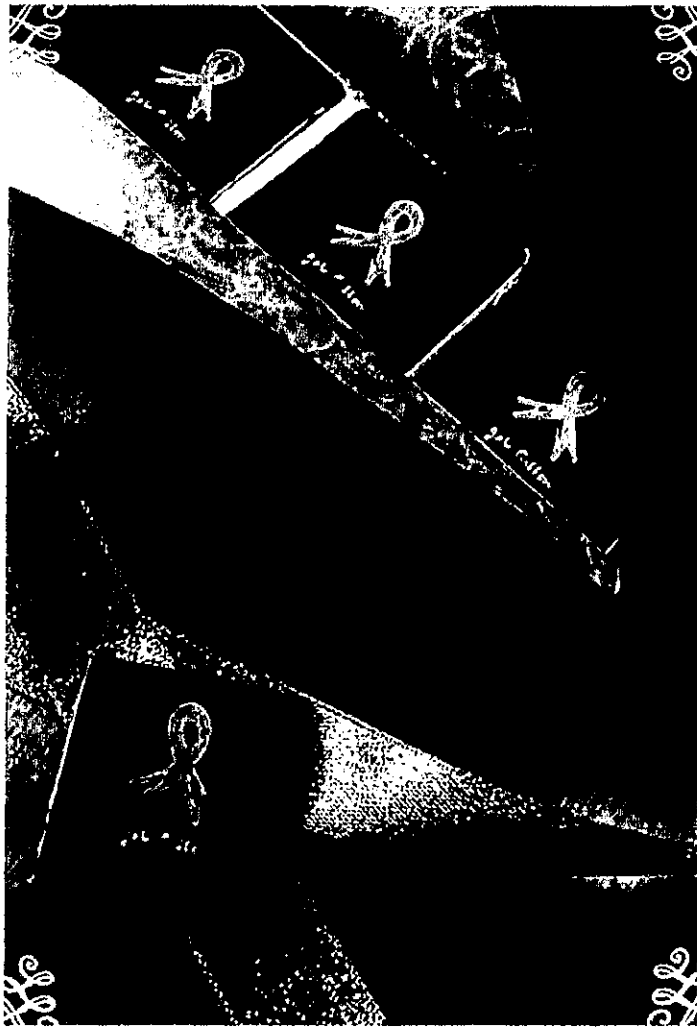


ゴールドリボンストラップ

お申し込みはファックスかメールにてお願いいたします。

FAX 03-5825-6316

e-mail : nozomi@ccaj-found.or.jp



国際小児がんデー
チャリティグッズ応募用紙

お 申 込 者	フリガナ お名前		
	ご住所	〒	
	連絡先	TEL	FAX
e-mail			

*ご記入いただいた個人情報は、本キャンペーンに関するご連絡以外には使用しません。

ゴールドリボングッズ		500円以上のご寄付につき1つ	
チャリティチョコレート	箱		円
ゴールドリボンバッジ	個		円
ゴールドリボンストラップ	個		円
啓発チラシ	枚		無 料
合計金額			円

*2016年内のお申し込み、ご入金の方へのグッズの
ご送付は、1月下旬~2月上旬を予定しています。
以降順次対応させていただきます。
*ご寄付の一部はCCI(国際小児がんの会)を通して、
世界の小児がん医療の向上に役立てていただく予定
です。
*当会へのご寄付は、税金の控除対象となります。
お手続きには領収書が必要です。

領 収 書	
要 ・ 不要	

入 金 方 法	<input type="checkbox"/>	クレジット	当会ホームページ「寄付・支援」の「1回ごとクレジットカード」よりお手続きください。 申込シートの中の「がんの子どもを守る会への要望」欄に、グッズのご希望内容をご入力ください。
	<input type="checkbox"/>	郵便振替	口座番号：00190-5-102394 加入者名：公益財団法人がんの子どもを守る会
	<input type="checkbox"/>	ゆうちょ銀行	口座種別：当座 支店名：019(ゼロイチキュー)支店 口座番号：0102394 名義：公益財団法人がんの子どもを守る会

公益財団法人がんの子どもを守る会

〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-3-12 TEL 03-5825-6311